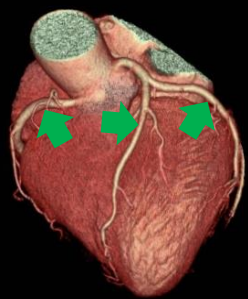


## 血管撮影検査ってなに？

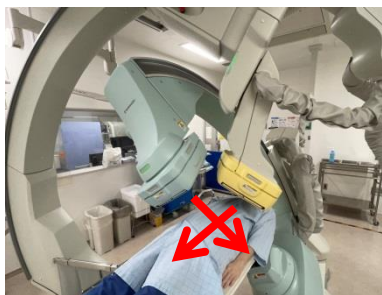
血管撮影検査とは、心臓や頭、手足の血管を、造影剤という薬を用いてX線撮影を行うことを言います。造影剤を使用することで、血管の走行や、太さなどをはっきりと観察することができます。必要があれば血管を広げる治療などを行う場合もあります。



左の画像は心臓のCT画像です。心臓には太い血管が3本あります。心臓の血管造影検査では、様々な角度から血管の状態を確認することで、血管の狭窄などの病変を見つけることができます。



右の写真のように、一度に2方向から撮影を行います。



## 血管撮影室のヒ・ミ・ツ



血管撮影室では、医師だけではなく、様々な職種が集まり、力を合わせて患者様の検査治療を行っています！



何かご不明な点がございましたら  
こちらまでお問い合わせください  
成田記念病院 放射線部  
☎0532-31-2167(代表)

## 血管撮影検査

不安や分からないことなどがありましたら  
お気軽に担当スタッフにお声がけください。



成田記念病院  
放射線部

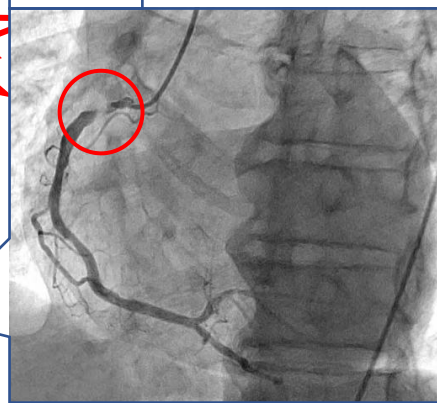


## 血管撮影室で行っている検査・治療

## ～心臓カテーテル検査・治療～

心臓カテーテル検査は、狭心症や心筋梗塞などに対して、足の付け根や手首からカテーテル(管)を心臓まで進め、心臓の血管を造影する検査です。血管が狭くなっていれば、その部分を広げる治療を行う場合もあります。

治療前

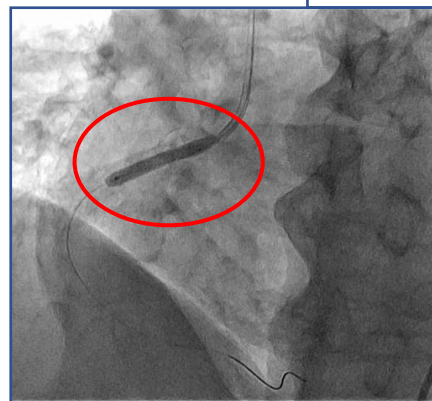


胸の痛み  
息苦しさ



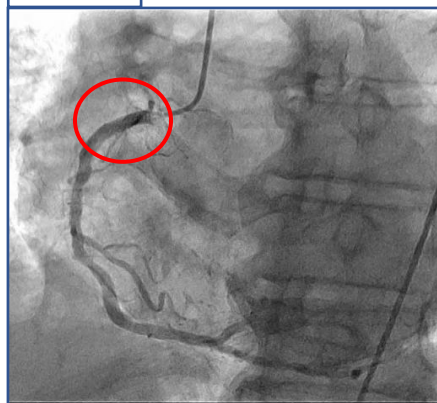
狭心症や心筋梗塞は、胸の痛みや息苦しさなどの症状が現れることがあります。医師が必要と判断した場合、心臓カテーテル検査を行います。左の画像は心臓の冠動脈を造影した画像ですが、赤丸の箇所が狭くなっているのが分かります。

治療中



右の画像は、狭くなっている血管を広げる治療を行っている際のものです。赤丸で囲った黒く細長いものがバルーン(風船)と呼ばれるもので、これを血管内で膨らませることで狭い箇所を広げることができます。

治療後



左の画像はバルーンで血管を膨らませた後の画像です。赤丸の箇所が広がっているのが分かります。このように血管を広げる治療を経皮的冠動脈インターベンション(PCI)といいます。



## ～血管拡張術～

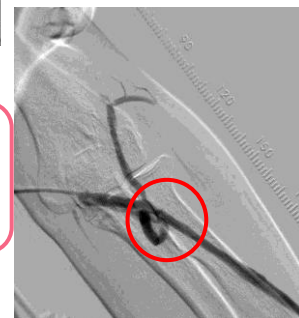
血液透析に必要な血管を広げる治療です。狭くなった箇所をバルーン(風船)で広げます。

治療前

肘のあたりの血管の画像です。赤丸の箇所が狭くなっています。



バルーンで  
広げます



治療後

赤丸の箇所が広がっています。

その他にも

- ・ペースメーカー移植術
  - ・下肢血管造影検査
  - ・TACE(肝動脈化学塞栓療法)
- など様々な検査・治療を行っています

